

報道関係者 各位

2025年11月17日

取材のお願い

【11/29】学生企画の遊びブースで親子交流 0~2歳児対象「しののめ子育てオープン広場」開催

学校法人松山東雲学園は、運営する松山市地域子育て支援拠点事業「しののめ広場たんぽぽ」主催（松山東雲学園こどもセンター監修）による、0・1・2歳児とその保護者を対象とした「しののめ子育てオープン広場」を2025年11月29日（土）に初開催いたします。

当日は学生が企画した遊びのブースでの親子の様子、学生の取り組みなど、取材に適した場面が多数ございます。ぜひ取材にお越しください。事前にご連絡いただければ、学生や保護者へのインタビュー調整も可能です。

- 核家族化・地域コミュニティの希薄化で孤立しがちな0・1・2歳児の保護者に、安心して遊べる場所を提供
- 未来の保育者である学生が企画・運営する5つのゼミのブースとスタンプラリーで、親子の交流と学生の実践的な学びを両立

◆ イベント概要

【日 時】2025年11月29日（土）10:00～11:30

【場 所】松山東雲女子大学・短期大学 A館1階

【対 象】0・1・2歳児とその保護者

【参加費】無料

【申 込】事前申込不要

【主 催】松山市地域子育て支援拠点事業
「しののめ広場たんぽぽ」

【共 催】学校法人松山東雲学園

【監 修】松山東雲学園こどもセンター



◆ イベントの特徴

1. 学生が企画する多彩な遊びのブース

松山東雲女子大学 子ども専攻の4つのゼミと、松山東雲短期大学 保育科の1つのゼミが、授業で学んだ知識と技術を活かし、子どもの発達段階に応じた遊びのブースを設置します。

- ①新聞紙プール、サーキット遊び
- ②絵本で遊ぼう
- ③ダンス、人形劇
- ④手作り楽器、リズム遊び
- ⑤ドングリを使った遊び

2. スタンプラリーで親子のコミュニケーションを促進

各ブースを巡るスタンプラリーを実施し、親子で楽しみながら交流を深められる工夫を凝らしています。

3. 学生にとっての実践的な学びの場

学生にとっては、実際の親子と関わる貴重な実践の場となり、保育現場で求められるコミュニケーション力や対応力を身につける機会となります。

◆ 開催背景：地域とつながる子育て支援と、大学が果たすべき社会的役割

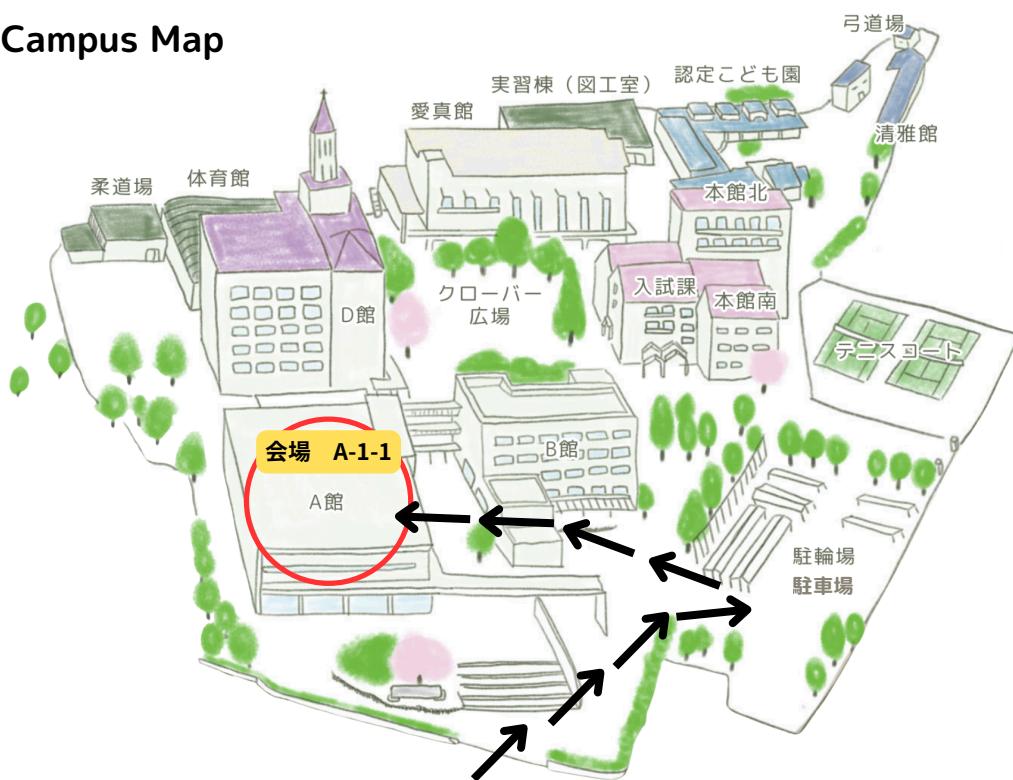
少子化が進む一方で、核家族化や地域コミュニティの希薄化により、子育て世代の孤立が社会的な課題となっています。特に0・1・2歳児を持つ保護者は、育児の悩みを相談する場や同世代の親子と交流する機会が限られており、子育ての不安を抱えやすい状況にあります。

本学では2018年に「松山東雲学園こどもセンター」を開設し、「こども」を軸に子どもの成長と子育て支援に関する地域の拠点として活動してまいりました。本イベントはその一環として、今回初の試みとして学生が主体となって企画・運営する遊びのブースを通じて、親子が安心して遊べる場所を提供するもので、次年度以降も継続開催する見込みです。

◆ 松山東雲学園こどもセンターについて

2018年開設。保育者養成に50年を超える歴史と実績を持つ本学が、地域住民・行政・企業等と連携し、子どもの成長と子育て支援に関する地域の拠点として運営。現職保育者のリカレント教育、地域との共同研究、子育て支援事業など、多様な活動を展開しています。

Campus Map



【お問い合わせ先】 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 広報

松山市桑原3丁目2-1 電話：089-931-6211(代) Mail : kouhou@shinonome.ac.jp

2025年度 学校法人松山東雲学園 こどもセンター

しののめ子育て オープン広場

参加無料

事前申込
不要

0・1・2歳児さんを対象にした
楽しい遊びがもりだくさん！



ダンスと人形劇、どんぐり遊び
てづくり楽器・絵本の読み聞かせ、
新聞紙プール・サーキット遊び…など

スタンプラリーも
あるよ！

●日時：2025年11月29日(土)10:00～11:30

●場所：松山東雲女子大学・短期大学 A-1-1教室

お車での来場可



授乳室、おむつ交換台をご用意しています。

たんぽぽのお部屋も開いています♪
おみやげを用意していますので、
ぜひお立ち寄りください。



主催：松山市地域子育て支援拠点事業
しののめ広場たんぽぽ

共催：学校法人松山東雲学園

